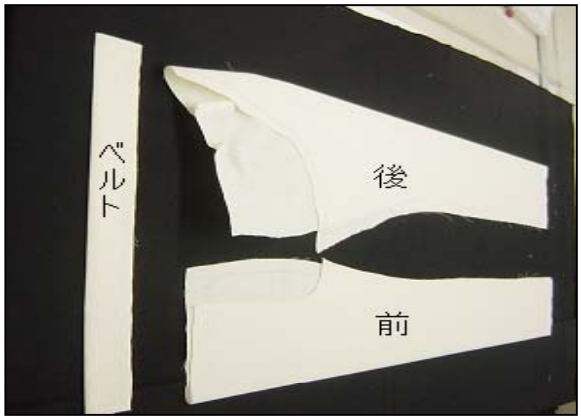
特別講習会☆上級者講習内容　2006/6/25

メンズパンツのくせとりについて

前回のパンツパターンをシーチングに写し、くせとりをしました。
このくせとりは、縦糸と横糸で構成されているものであれば、
どんな素材にでも対応できます。
（注） ストレッチ素材を除く



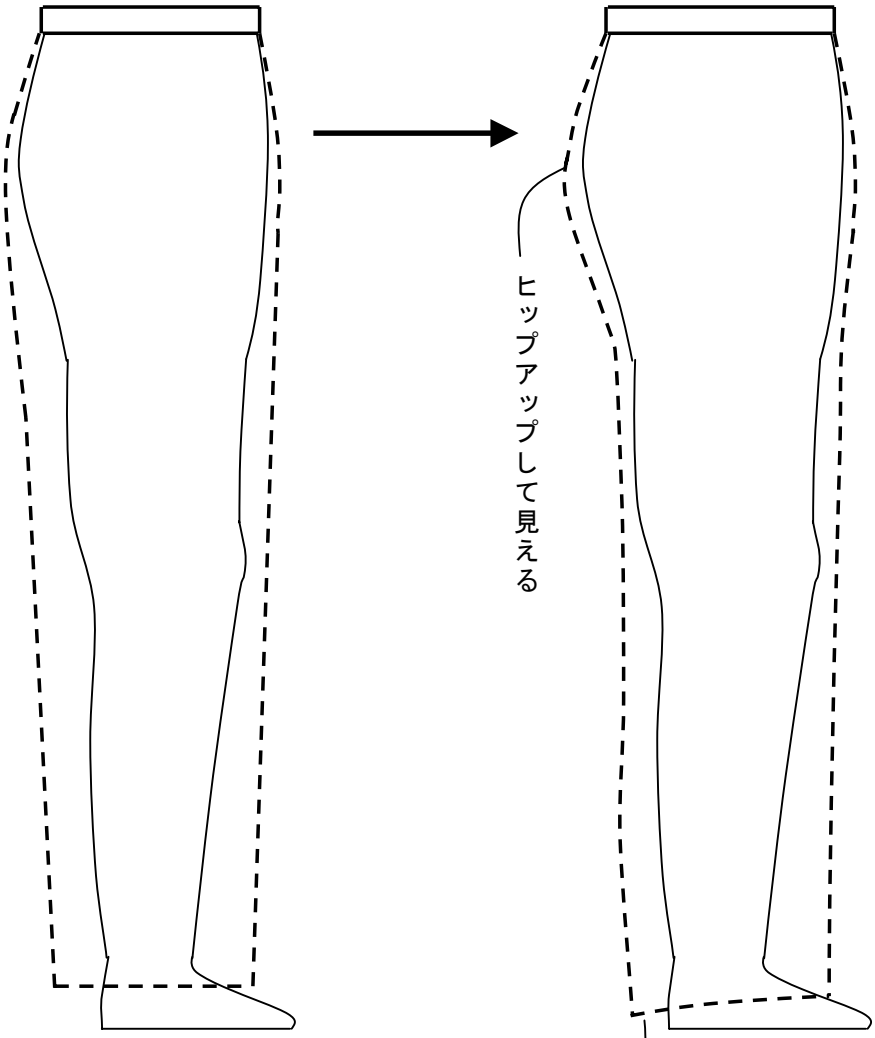
くせとり前

前後ともパンツの中心線で
折った状態です。
中心線はまっすぐです。

くせとり後

くせとりにより、中心線、
脇・股下線が写真の様に
変化しました。

くせとりをすることによって、下図の様に、より体にフィットしたシルエットに
変化させることが出来ます。



つま先まで裾があたらないので、丈を長くできる

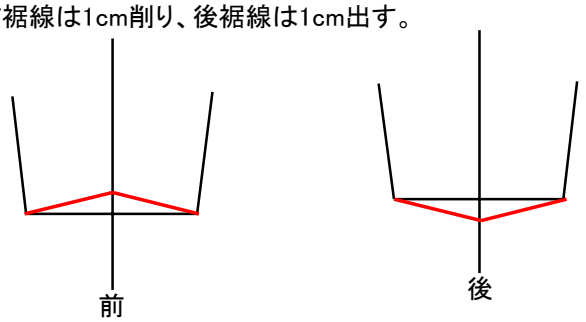
||

足が長く見える

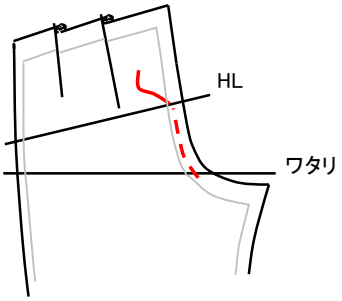
くせとりの手順

Ⅰ、準　備

① 前裾線は1cm削り、後裾線は1cm出す。



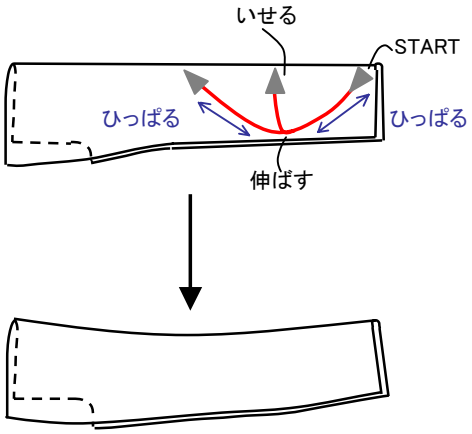
② 後ダーツを中縫いする。
股ぐりを出来上がり線より0.3cm外側を、しつけ糸2本どりでぐし縫いする。



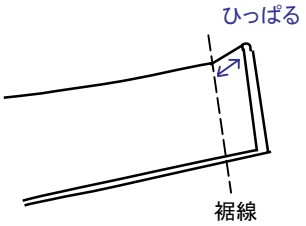
Ⅱ、 前パンツのくせとり

① 裏から半分に折る。

② 折り目をいせ、脇・股下線を伸ばす。



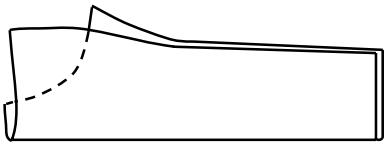
③ ヘムを伸ばす。



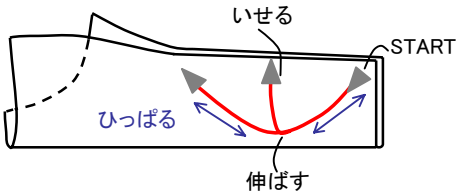
④ くせとりが終わったら、表から中心線で折り直す。
股上から上はタックのラインとつなげる。
裾線は削れた線（準備で入れた線）で折る。

Ⅲ、後パンツのくせとり

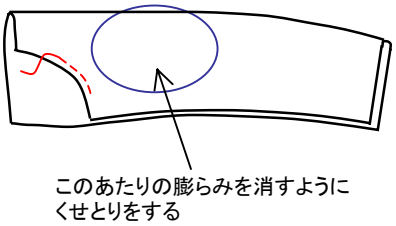
① 裏から半分に折る。



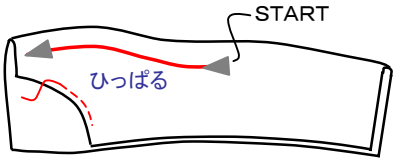
② 膝から下をくせとりする。
折り目を伸ばし、脇・股下線をいせる。



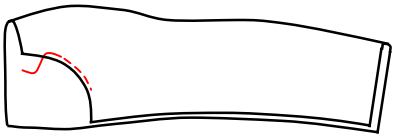
③ 膝から上をくせとりする。
股下線を脇線にそろえて折る。



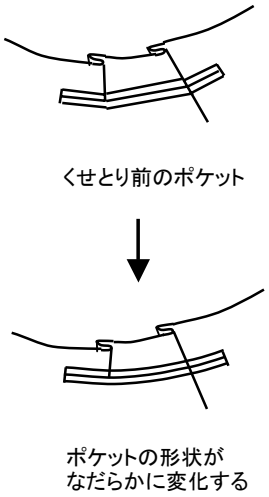
④ ヒップのあたりを引っ張り、
おしりの形を作る。

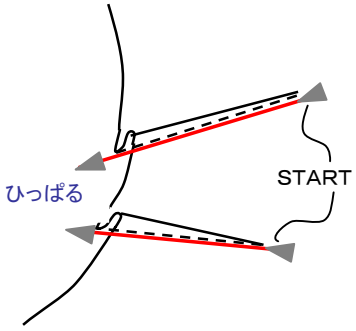


⑤ 股ぐりをいせる。
しつけをひっぱりながら、形を 整える。



⑥ ダーツのくせとりをする。





⑦ くせとりが終わったら、表から
中心線で折り直す。
裾線は出した線（準備で入れた
線）で折る。